観光は平和へのパスポート
国連世界観光年宣言

JHSたより

平成25年11月15日（15,000部）発行
2013.11 Vol.49

学校法人日本ホテル学院
発行所／専門学校日本ホテルスクール
一般財団法人 日本ホテル教育センター
〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号　TEL.03-3360-8231（代）
http://www.jhs.ac.jp　http://www.jec-jp.org/　FAX.03-3360-8584

米国ポールスミス大学と単位互換の協定更新

～これまで18名がPSCへ進学～
グルーバル化に対応、海外の大学とも連携

John W. Mills 学長と石塚校長の サインを終えて

新政権が誕生してから、グローバル教育への話題が急上昇してきました。世界の動きがボーダーレス化に進展する中、日本人の海外留学志向が低下傾向にあること、語学教育が実用的でないことなどから、文科省では、以前から、初等～高等教育分野や国際教育協力分野などの国際化について、中央教育審議会を始め、様々な場で議論が行われてきました。また、国内企業においても優秀な外国人の登用や社内の英語公用化が進んでいます。

本校は、ホテル産業が国際性を前提とした産業であるだけに、1972 年開校当時から海外大学との連携を意識し、米国のポールスミス大学と連携、卒業生の進学先としてきました。同大学は、当時二年制の短大でしたが、1997 年 4 年制の学士コースの発足を機に、単位互換協定を締結、編入学してから 62 単位取得して 2 年間で卒業、学士号を取得できるようにしてきました。今回は、相互の状況変化を確認、同協定を更新したもの。

学生に直接語りかける John W. Mills 学長

本校では、1995 年米国のシラー国際大学，1999 年豪州のザ・ホテルスクール，2003 年スイスのグリオンホテルスクール，2009 年オランダのサキション大学，2012 年フィリピンのパーペチュアル大学と単位互換による編入学を推進してきました。海外の大学編入には、英語の授業に対応できる TOEFL550 点以上が基本であるため、進学者は累計 38 名。まだ少数ですが、国際派を志向する学生には大いに挑戦してもらいたいものです。

また現在、在学中 1 年間の短期留学生：カナダのダグラスカレッジ 39 名、オーストラリアのホームスグレン 39 名、計 68 名の学生、英語で授業を受けている英語専攻科 30 名の学生、更に毎年インターンシップで海外へ向かう約 30 名の卒業生、機会は沢山ありますので、条件が整えば、グローバル時代に向けて更に上の教育機関も目指して欲しいものです。本校としても大いに支援していく方針でいます。

2020年オリンピック東京大会決定
－観光業界に追い風－

校長　石塚 勉

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定は、非常に嬉しいニュースです。1964 年東京オリンピックでは、首都高速道路の整備、新幹線の開通、国際級ホテルの建設など多くのインフラが整備されました。

私のホテル業界入りの年でもあり、ホテル滞在客の 95%は外国人で、外国人、英語、異文化等々、海外への興味関心が触発され開眼された年、49 年を経た今でも鮮明に記憶に残っています。日本の国際観光元年とも言うべき大イベントでした。

オリンピック開催地発表の時、ちょうどスペインを旅行中でしたが、発表前夜、祭の如くマドリード開催を祝う人々が街の広場で祝杯をあげていました。この雰囲気を見ると、マドリード決定かと思いましたが、「東京」と発表されると、テレビを見ていたスペイン人は落胆のため息、我々を日本人と見るや、祝杯がこちらに向けられ、おめでとうの声に変わりました。流石は、紳士淑女の多い国、今回は印象的な瞬間を味わいました。

去る 10 月 16 日、国土交通省観光庁は、早くも 2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会に関する観光関連連絡会を開催、久保観光庁長官の挨拶をはじめ、観光庁スポーツ観光、陸上・水上交通、首都圏航空等々の行政各分野から、今後の取り組みについて説明、続いて早稲田大学原田教授の「オリンピックと観光」の講演がありました。これから 7 年後に向けて、ラスベガスの開発を範とするＩＲ（カジノを含めた統合型リゾート）開発をはじめ、技術革新を含む大規模な準備がなされていくでしょう。観光業界にとっては、追い風の時代を迎えました。

原田教授の講演「オリンピックと観光」

海外ホテル研修生制度合同修了式を開催
～アメリカホテル・シャングリ・ラ ホテル・スイスホテル研修生～

2012 年度海外ホテル研修生制度合同修了式を 7 月 3 日、ヒルトン東京にて開催しました。修了式には、アメリカホテル研修、シャングリ・ラホテル研修、スイスホテル研修に参加した 22 名のうち、16 名が出席しました。1 年間の研修を終えた証として行われた合同修了式典では、研修を通して大きく成長した卒業生が集い、久々に会う仲間との再会を楽しむ姿も見られました。

石塚校長は、「研修が始まった頃と比較をすると、大きく成長して帰国された姿が印象的です。きっと 1 年間の企業研修は貴重な経験になったはずです。今後も皆さんに求められていることの一つとして『異文化理解』を挙げることができます。世界中の人々が行き交う中で、相手、そして相手となる国の理解とともに、日本人であることを基盤に伝統などを理解し、伝えることが求められます。これまでの研修を第一歩として次のステップに進んで欲しいと思います。1 年間の研修お疲れ様でした」と、感謝の言葉と共に労いの言葉をかけられました。

海外ホテル研修生　合同修了式に参加した卒業生 16 名と教職員

代表挨拶　アメリカホテル研修生 大和田 尚子さん

シェラトン・ラグーナ・グアム・リゾートでホテル内のコンシェルジュとして1年間の研修を行いました。

ホテルには、挙式に参列される方から初めての海外旅行で訪れた方など、いろいろなお客様がいらっしゃいます。お客様によってサービスを変える必要性を肌で感じた1年間でした。私にとって、海外ホテル研修は貴重、そして充実した「経験」になりました。

卒業生と来賓・教職員の皆様と

国際ホテルマネジメント専科卒業式典を挙行
～10 期生 12 名が卒業～

2013 年度国際ホテルマネジメント専科の卒業式典を 10 月 10 日、ホテルインターコンチネンタル 東京ベイ（東京都港区）で挙行しました。大学とのダブルスクールや、大学卒業後、また海外の学校を卒業してから入学してきた卒業生に、石塚勉校長から卒業証書が手渡されました。

石塚勉校長は式辞で「入学してから１年半と短い期間でしたが、さまざまな立場から専門学校の教育に臨んでいただきました。自身の糧として、きっと将来に役立つものを得たことだと思います。少子高齢化、国際化など世の中の変化にどう対応するのか、ということを念頭におきながら、それぞれが所属する会社で一生懸命努力して業界のリーダーとして活躍されることを期待しています」と述べられました。

優秀学生賞受賞　平田貴大さん

卒業記念パーティー会場にて

国際ホテルマネジメント専科

大学・短大を卒業した方、社会人経験者や、大学とのダブルスクールで通学する方を対象とした 1.5 年制のカリキュラムで編成したコースです。 1年目は週3回、 2年目は週4回の通学で短期間にホテル・ブライダル業界への就職をめざします。 1日2時間の授業でゆとりを持って学びながら、空いた時間はダブルスクールや個々の興味の範囲を広げる活動にも充てることが可能です。今年の卒業生は、国内のホテル関連企業、レストラン企業、一般企業への内定や、海外ホテル研修生（スイスホテル研修生）として海外への渡航を決めるなど、その成果は大きく現れています。

採用ドラフト 2013 実施
～ブライダル業界 × 専門学校生～

「採用ドラフト 2013」が、７月１日に八芳園にて開催され、本校の学生 41 名が参加しました。

学生たちは５名程度のグループに分かれ、テーブルセッティングをし、参加企業の皆様にプレゼンテーションを行いました。その様子と個人の自己ＰＲによって、参加企業は興味を持った学生を指名するドラフトのような形式で採用試験が行われました。指名されるか学生たちもドキドキしていましたが、ほとんどの学生が指名をいただき、個別のインタビューを受けました。学生にとっては積極性を問われる企業とのマッチングイベントでしたが、刺激を受けた一日になったようです。

人事担当者を前に自己PRを行う学生

就職内定率好調
～10 月末現在　80%！～

本年度の求人数は昨年度より 137%増となり、10 月末時点で就職率は 80.0%、就職未決定者は 20.0%を残すのみとなりました。

進路指導室では、学生・担任と力強いタッグを組み、卒業式までに全員の内定獲得に向けて奮闘中です！

就職ガイダンス風景

防災体験」を実施
～ 防災に対する知識、技術、行動力を学ぶ ～

本校では毎年１年生を対象に「防災体験」を学校行事として実施しています。「防災体験」はホテルの基本な心得である「お客様の生命と財産を守ること」を理解する上で大切な学校行事のひとつです。学生の防災に対する知識や技術、行動力、そして「備えの大切さ」を学んでもらうことを目的に毎年１年生を対象に実施しています。

2013 年度も池袋防災館をお借りし、緊急時の心得、知識を学ぶために以下の内容を体験しました。

●心臓マッサージ、人工呼吸などの心肺蘇生術
●AED（自動体外式除細動器）の知識
●地震発生時の対処方法
●煙の中での避難方法
●消火器を使っての初期消火体験

消火器を使っての初期消火体験

心肺蘇生術体験

防災館インストラクターの方の指導のもと、今まで目にしたことはあるけれど、使ったことのない器具を手に取り、防災体験に取り組む学生の姿は真剣そのものでした。普段学校の授業において、ホテル・ブライダルの全体像や幅広いサービス実務を学んでいますが、防災体験を通じて、自分自身の身を守ることと同時に、ホテル・ブライダルスタッフは「お客様の生命と財産を守る」という重要な役割を担っているということを改めて理解する場になりました。

サークル活動紹介
～ カクテル同好会・レストラン研究会 ～

レストラン研究会

レストラン研究会は、クラブ活動として 7 月 31 日、本校校舎内にてサマーパーティーを行いました。

冷製の前菜のカナッペ、ポテトサラダ、温製としてあさりのワイン蒸し、春巻き、スパゲティ・ナポリタン、メインディッシュのタンドリーチキン、デザートの西瓜を器にしたフルーツポンチ、飲み物はノンアルコールのモヒートなどバラエティ溢れるメニューを皆で手分けして作りました。

日頃の活動の成果を発揮して食材切りから揚げ、焼き、炒め、盛り付けなど悪戦苦闘しながらも一生懸命調理しました。テーブルもパーティーらしく飾り付け、パーティー開始。大いに盛り上がりました。

全員で集合写真

カクテル同好会

ソーセージ作りとバター作りを体験

カクテル同好会恒例の夏合宿が、8 月 6 日～ 7 日の 1 泊 2 日、栃木県の那須高原にて行なわれました。

今年の参加者は卒業生を含む 58 名。初日は、那須塩原の体育館にてバレーボール大会を 4 時間。スポーツの後は、隣の温泉にて汗を流しました。貸し別荘を 3 軒貸し切りにして、夕食は皆で協力してパスタと餃子、焼肉をつくり、食後には花火も楽しみました。2 日目は、朝食を流しそうめんでとり、南ヶ丘牧場にてソーセージとバター作りを体験、午後は乗馬を楽しみました。佐野のアウトレットで買い物の後、渋滞を避けながら無事に学校解散となりました。

OB、1・2 年生と学年の枠を超え、在校生にとっては実習や就職の不安も解消される良い交流を持つことができ、チームワークを学ぶ合宿となりました。

外国人留学生バスツアーを実施
～ 日本文化の理解・交流を目的に ～

都庁前での集合写真

毎年恒例の外国人留学生バスツアーを 6 月 15 日に実施しました。中国、台湾、韓国からの留学生 17 名と教職員 8 名が参加し「日本の文化を体験」をテーマに東京都庁の展望台、月島でのもんじゃ焼き体験、江戸風鈴作り体験をしました。

特に、江戸風鈴作りではガラス吹きから絵付けまでを体験でき、オリジナルの風鈴作りに時間を忘れるほど参加者全員で楽しみました。昨年までは 1 年生のみの参加でしたが、今年度より 2 年生も参加しています。1 年生はこれから始まるホテル実習の心構えや定期試験などの学校生活で不安に思っていたことを先輩からアドバイスをもらっていました。

もんじゃ焼きを楽しむ

トピックス

卒業生がワイン専門誌に掲載
～ 隔月刊 ワイン王国 ～

卒業生の渡部慶一郎さん 2005 年卒業が、ワイン専門誌である『隔月刊 ワイン王国』2013 年 9 月号に掲載されました。「1000 円台で見つけた　リゾートに持っていくなら、このワイン　ザ・ベスト・バイワイン 32 本」というタイトルで、気鋭のソムリエ陣 4 名がベスト・オブ・リゾート・ワインをさまざまなタイプの 159 本の中から選び出す」という企画のテイスターの一人として登場しています。実際に 2 日間かけてブラインドで 150 本あまりのワインをテイスティングし、採点を行ったそうです。

実習先(株)ベストブライダルで在校生が新人部門で優秀賞を受賞

昼間部ブライダル科２年生の上野菜摘さんが、実習先の株式会社ベストブライダルで、SIS 月間優秀賞を受賞しました。

今回の表彰は、平成 25 年 5 月度における顧客満足の向上とスタッフの達成への取り組みである感動の道しるべ「SIS 活動」への積極的な参加と、その着眼点や行動力が全社員の模範となると評価されました。

上野さんは、SIS 実行委員会において 91 票中 62 票を獲得し、全国 20 事業所の中から新人部門で第 1 位になりました。ホテル・ブライダル実習という限られた時間の中で、一生懸命努力した成果です。受賞おめでとうございます。

上野さん(左)と川上先生

74回スコール世界大会 ニューヨークで開催
～54カ国、245クラブ、1070名が参加～

フィラデルフィアのFrank Klare氏
元ラディソンホテル成田総支配人（右）と石塚校長

9月28日～10月5日、第74回スコール世界大会2013（74th Skal World Congress 2013）が米国ニューヨークで開催され、世界54カ国、245クラブ、1070名が参加。総会、セミナー、B2B、役員会、交流懇親会、観光地視察等々が行われました。

今回は、ニューヨーク・クラブが誕生してから75周年を迎えたことから、同クラブが中心となり、特別企画として、Carnival Glory の船上が会場となり、ニューヨーク（米）～ボストン（米）～ポートランド（米）～セント・ジョン（加）～ハリファックス（加）のクルージングとなりました。次期の開催国は、2014年メキシコ、2015年ケニヤが総会で決議されております。日本からの参加者は4名、本校からは、石塚勉理事長が出席しました。

スコールクラブ

1932年スエーデンで観光関係者の交流会として発足し、世界の国際観光機関とも連携、グローバルな観光促進に向けて、主に情報交換、ネットワーキングの場として活動しています。現在、「友情」「健康」「幸福」「長寿」を合言葉に、本部をマドリードにおき、85カ国、450クラブ、18,000会員を有する民間の国際組織です。主に、旅行、ホテル、航空会社、レストラン、レンタカー、船舶会社などの経営者・オーナークラスの会員が中心ですが、若い世代からの会員も促進しています。日本では、東京、名古屋、大阪に3クラブがあり、約150人の会員がいます。なお、『スコール』とは、北欧の言葉で「乾杯」を意味しています。

第3・4回 The Ritz-Carlton プログラム
～日本文化の理解・交流を目的に～

本年度よりスタートした英語専攻科を対象とした「ザ・リッツ・カールトンプログラム」第3回、第4回の講義が6月11日と21日に1年生を対象に実施しました。

Maiko Adachi氏（ゲスト・リレーションズマネージャー）
Robert Sexton氏（フロント・オフィスマネージャー）

Adachi氏と学生

リッツ・カールトンのサービスバリューに基づくAdachi氏の講義では、お客様が言葉にされるもの、言葉にされないものの違いや、どんな気持ちでお客様と接しサービスをするのかを話していただきました。

また、Robert氏はお客様がもう一度ホテルに来たい、再びリッツ・カールトンを利用したいと思うために何が必要かを教えていただきました。同様にリッツ・カールトンの仕事の仕組みなど話していただきました。

真剣に話を聞く英語専攻科1年生の学生

海外からの訪問者

フィリピン
～フィリピン航空より関係者～

バラザル・サラザール氏

昨年、本校はフィリピン・マニラにあるパーペチャル・ヘルプ・システム大学（UPH大学）と連携基本合意を交わし、海外大学編入制度を開始しました。また、今年度1年生の海外研修旅行の渡航先が、フィリピン・マニラ、セブ島に決まりました。このような交流を契機に、本校の教職員を対象に、フィリピンの理解を深めるためのレクチャーが行われました。

今回のレクチャーには、フィリピン航空日本支社より、日本支社長 バラザル・サラザール氏、旅客営業部部長 清水悠氏、フィリピン観光省より東京支局セクションチーフ 横山泰彦氏、UPH大学より、出張恵久氏、石井幸雄氏をお招きし「フィリピンの現状を知る」というテーマで、さまざまなお話をいただきました。

今後、さらに理解を深めながら、学生への情報提供、海外研修旅行への意識付を進めていく予定です。

レクチャー後に教職員と記念撮影

アメリカニューヨーク州
～ポールスミスカレッジから学長他関係者～

本校の3年次海外大学編入先であるアメリカニューヨーク州にあるポールスミスカレッジ（Paul Smith's College）より、John W. Mills 学長、学長夫人、大学編入担当部長 Amy Tuthill 氏と入学アシスタント Keith Braun 氏の4名が来校しました

ポールスミスカレッジは、本校が開校した1972年より、長きに亘り交流がありました。これまで、学長をはじめ、入学担当者やホテルマネジメント教授など多くの関係者が本校に十数回来校しています。

ポールスミスカレッジが2年制であったころには、本校より17名の学生が、2001年より4年制学科を設置してからは1名が進学し、学士号を取得しています。4年制学科設置後には、本校との単位互換が可能となり、単位互換のための所定の単位取得者とTOEFLのスコアを満たした者は、本校卒業後2年間で学士号取得が可能となる協定を結んでいます。今回の訪問では、環境の変化による単位互換協定の再調印が行われ、両校の意見交換を実施しました。

左から 川上先生、Braun氏、石塚校長、Tuthill氏、江口先生、
Mills夫人、Mills学長、中山先生

～ＪＨＳ同窓会便り～

第40回JHS同窓大学・札幌を開催
～ 卒業生、同窓会関係者など18名が集結 ～

懇親会風景

第40回ＪＨＳ同窓大学・札幌を６月29日、札幌プリンスホテルで開催し、札幌近郊在住卒業生、同窓会関係者、計18名が参加しました。

当日は同窓大学・札幌の学長、宮越惣一氏（1974年卒、同窓会北海道支部長）の挨拶に続き、参加者全員による校歌斉唱、近況報告、そして勉強会の教授は近藤隆一氏（1980年卒）が務め、北海道の観光事情、北海道を訪れる国内外の観光客の動向、市内のホテル事情など資料を基に講演、質疑応答を交えて盛んに意見交換がなされました。石塚校長から財団事業、学校近況報告後、懇親会が行われ、宮越惣一同窓大学学長から参加者全員に修了証が授与されました。

同窓大学参加者の皆様

翌日は、石塚校長をはじめ同窓会関係者が本校校歌を英訳していただいた釧路市のアルファ・イングリッシュ・アカデミーの代表舟木文雄氏（1974年卒）を訪問し、懇親の機会を持ちました。

2013年度 同窓会幹部会議を開催
～ 今後の同窓会活動の方向性を確認 ～

2013年度日本ホテルスクール同窓会幹部会議を６月18日、本校会議室で開催し、同窓会役員、事務局等10人が出席しました。

この会議では、JHS同窓会の前年度事業報告及び決算報告、2013年度事業計画案、収支予算案について審議、承認されました。また、今後の同窓会活動、新たな体制作りなど、参加者全員による意見交換を行いました。そして、石塚校長（同窓会特別顧問）から学校運営状況報告及び今後の同窓会運営に関する助言を頂きました。

本校は、1971年（昭和46年）の学校創立から今年で42周年、JHS同窓会は1977年（昭和52年）に学校からの全面的な支援を得て設立されました。この間、同窓会支部として国内８ヶ所、海外17ヶ所を設置し、卒業生の交流、連携を強化して参りました。

同窓会幹部会議に出席した10名

当同窓会は、今後も卒業生の相互交流の場、情報交換の場を提供し、学校の近況をお伝えする機関としての役割をしっかり担ってゆきたいと考えています。

■同窓会に関するお問い合わせ
同窓会事務局：TEL:03-3360-8231　FAX:03-3360-8584

第16回JHSソムリエクラブ開催
～ ザ･クレッセント ～

第16回JHSソムリエクラブの会合を７月23日に東京都港区芝にある「ザ・クレッセント」で行ない、26名が参加しました。
「ザ・クレッセント」は、レストランとして1957年に開業、現在の格調高い英国風洋館は1968年に誕生し、歴史と伝統がある日本を代表するグランメゾンです。
レストランの支配人兼シェフソムリエはJHSソムリエクラブの理事も務める畑山正治氏（1995年卒）です。通常は夜のみの営業ですが、特別に昼間全館を貸し切り、サービスをしていただきました。選びに抜かれた厳選素材を磯谷卓料理長が心を込めて調理し最良の状態で提供されました。同時に合わせていただいたワインの数々も申し分ありませんでした。このようなすばらしいレストランで集いが開催できることに、参加者一同大変満足していました。

ダイニングでの集合写真

JHSソムリエクラブは、ソムリエ、および料飲に携わる卒業生の勉強の場として年２回の会合をこれからも継続してまいります。興味のある卒業生は是非ご連絡をお待ちしております。

■ソムリエクラブに関するお問い合わせ
担当：川上　TEL:03-3360-8581　kawakami@jhs.ac.jp

卒業生がハーブティテラスを開業
～ 箱根･仙石原 ～

勝俣桂さん（2006年卒業）が、箱根・仙石原に自然あふれるテラス席でくつろげるハーブティテラス「Heart Leaf」を開業しました。

勝俣さんは、在学時からレストラン経営を目標に２年次に「レストランコース」（当時）を選択し、卒業後は勉強のためレストランやカフェで働き、調理学校にも通い開業に向けて準備をしていましたが、仙石原の実家の庭とリビングルームを改装し、2013年８月11日、念願のハーブティテラスを開業しました。

相州牛のハンバーガー、特製ピタサンドイッチ、手作りのスフレチーズケーキ、ふわふわのアールグレイシフォンケーキを自家栽培のフレッシュハーブのミントティや特製ジンジャークーラーと共に提供しています。

箱根・仙石原にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

卒業生の勝俣桂さん

海外ブライダルインターンシップ
～ 渡航前に卒業生が来校 ～

海外ブライダルインターンシップに内定した望月茜さん（2013年３月卒業）が、研修先のグアムに渡航するため、学校に挨拶に来校しました。

望月さんは、（株）グッド・ラックコーポレーションのグアムの事業所での海外ブライダルインターンシップに向けて、３月中旬から５月中旬まで、沖縄にある同社が運営するアールイズ・スイート 海の教会にて研修を行っていました。研修は、施設を訪れたお客様に対する案内や館内の整備など事前研修として幅広い業務を経験、渡航先のグアムでは挙式・パーティーの打ち合わせ、プロデュースを学びます。その後の半年間は、現地のブライダルコーディネーターとしてプロデュースを行う予定です。

吉岡先生（右）と

日本旅館国際女将会

～世界のホスピタリティ体験シリーズ　第3回　スペイン・スタディ・ツアーを開催～
－日西国交 400 周年を記念して古都トレドの軍事博物館の庭園に５本の桜を植樹－

第３回目となる今年は､9 月 5 日～ 12 日､6 泊 8 日の日程で 11 名が、日西国交 400 年となるスペインを訪問しました。

一行は、9 月 10 日、国交 400 年を記念し、両国友情の印として、スペインのトレド市にある軍事博物館の庭園中央に５本の桜を植樹しました。この植樹式典は、一般財団法人日本ホテル教育センターの企画により、バルセロナ～グラナダ～ミハス～ロンダ～セビーリャ～マドリッドの旅程内で公式行事として、日西観光協会／下平晴朗会長の仲介により実現したもので、スペイン側、アナ・イザベル・フェルディナンデス・デル・バリオ／トレド市観光局長、フェルナンド・リベラ／カステリーニャラマンチャ州観光局長、ホセフェデリコ・フェルナンデス／軍事博物館館長、パロマ・グティエレス／カステ リーニャラマンチャ州観光局担当をはじめ 10 名の館員が参列、両国の国旗を掲揚し、盛大に行われました。

国際女将会参加者一同　会から提供の桜の木を囲んで

『日本ホテルスクール』名で植樹

「国際女将会」に加え、福島県「新つた」、北海道「滝乃家」、岐阜県「下呂観光ホテルしょうげつ」、東京都「専門学校日本ホテルスクール」それぞれから５本の苗木が提供されました。

植樹証明書授与

フェルナンデス館長は「この植樹を初めとし、米国のポトマック河畔の桜のように、両国友好のシンボルとして観光名所となり、世界中の人々が訪れることを期待しています」と挨拶。また下平会長からは、「1611 年『慶長東北地方太平洋沖大地震津波』の発生から２年後に慶長遣欧使節団がトレドに、2011 年『東日本大震災』から２年後に国際女将会の一行がトレドを訪問とは、これも歴史の偶然か」と話されていました。

軍事記念博物館内での
懇親会の様子

軍事博物館職員の皆様

アメリカの TV メディアによる和食文化の取材に協力

～ アメリカ　285 のテレビ局で放映 ～

和食検定を主催する一般財団法人日本ホテル教育センターは、西洋と東洋の文化の融合をテーマとしたドキュメンタリーフィルム「West Encounters East」のプロデューサー、ステラ M. ホームズさんとそのプロダクションチームにより、アメリカの TVメディア向けに制作が進められている第２弾のドキュメンタリー収録のための取材を受けました。

撮影風景

菊池主席研究員を中心に
日本ホテル教育センター石塚理事長と取材班のメンバー

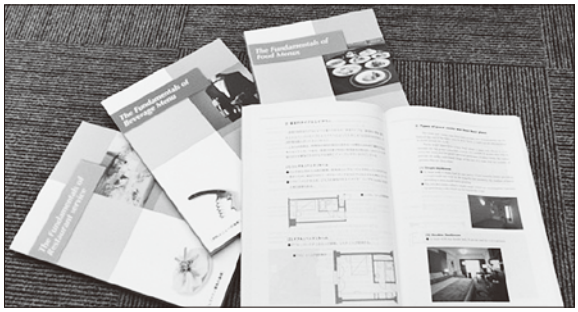
この「West Encounters East」の第1弾のフィルムは、アメリカで既に 285のテレビ局で放映され、今年の 10月、ニューヨークの自主映画フィルム・フェスティバルで公開されました。今回取材を受けた第2弾のフイルムの公開予定は未定ですが、多くの放映が期待されています。

新版『日英併記テキスト』4 冊を開発

日本ホテル教育センターでは、独自のナレッジスタンダード(知識体系)を基に開発した基礎教育テキスト37冊に、新たに日英対訳本を開発し、4冊が加わりました。

英語を主とした授業で使用できるほか、該当する教科でも英語を身につける事ができると既に多くの学校よりお問合せを受けております。さらに、2014 年使用の日英対訳本 4 冊も開発中です。

- Basics of Accommodation Service
  宿泊業務の基礎
- The Fundamentals of Restaurant Service
  レストラン業務の基礎
- The Fundamentals of Food Menus
  料理メニューの基礎
- The Fundamentals of Beverage Menu
  飲料メニューの基礎



■お問い合わせ:事業部　教育事業室 TEL:03-3367-5663

◇◇◇◇ JHSたより 49号 ◇◇◇◇
編集責任者：石塚　勉
編 集 担 当：黒沢由美子
連　絡　先：03-3360-8231／kurosawa@jhs.ac.jp